小田原のシンボル小田原城にいけばな奉什活動!

1961 年に小田原城よりの依頼により始まった小田原城天守閣のいけばな奉仕(当時は先代の 杉﨑冝宗)は、四六時中365日のボランティア奉仕活動です。2代杉﨑宗雲により、展示場 所は替わりましたが現代も続けられています。

小田原に来訪される方への「迎い華」です。



SAMURAI 館 常盤木門



日本人の必の安らぎになる活花がほし 原市の象徴として観光客の誘致に大き 成したのであります。それ以来、小田 たる熱望により小田原市が市制20周年小田原城天守閣は、市民の長年にわ うようにいかずに月日がたちました。 いと願っておりましたが、 な役割を果たしております天守閣にも 記念事業として、 昭和37年の異動で教育委員会から、 昭和35年5月25日完 なかなか思

された、御室流主催による、 かめましたのは、昭和42年4月に開催げます。このような出合いをさらに深 でが光格天皇に特別の御愛顧をうけた との関係は、小田原藩の名君大久保忠かえりみますれば、小田原城と御室 寺宝物展と花展であります。 匠のご尽力の賜ものと深く感謝申し上 絆をさらに深めると同時に御室流艸華 に思えて一層感激を覚えるものであり ふれあいが生きてつながっているよう らず、165年後の今日にして、 数々のことを偶ぶにつけても因縁浅 ようになりましたことは、 が京都所司代在職中に随従の藩士ま 今後も御室流と天守閣との 、繁栄されることを祈りま 天守閣に活花が飾られる ひとえに宗 心と心の 御室仁和

田 原 城 天 守 閣

御室流の宗匠杉崎冝宗氏との話合

(第2代所長)の転任によ

小

御室流と小田原城

か